

平成30年度

事務事業評価表 A（平成29年度の実績評価）

記入年月日  
平成 30 年 4 月 19 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '地域安全防犯啓発事業' and '防犯及び消費生活対策の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (防犯キャンペーンの計画・実施) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (防犯キャンペーン), ②対象 (市民), ③意図 (防犯意識の高揚), ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for 28-32 years.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (人件費) for 28-30 years.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of Business Costs) with columns for 29年度実績 and 30年度事業費予算.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '実施内容' (Implementation Content) with columns for 30年度, 31年度, and 32年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	地域安全防犯啓発事業	事務事業No.	30201000689	所属課	生活環境課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

防犯パトロール等の防犯活動が、犯罪の起こりにくいまちづくりに必要となっている。  
防犯連絡員による毎月15日のパトロールが定着し、犯罪の起こりにくいまちづくりに寄与している。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市民の防犯意識を高めることにより、安心して暮らしていく環境づくりに結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	防犯啓発活動をするために、桜川地区防犯協会及び桜川地区防犯連絡員協議会の事業として活動している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	防犯連絡員と防犯ボランティア団体と
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	犯罪を抑止しなくなるよう啓発を継続して行うことで、市民の意識も変わっていることから廃止すべきではない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	桜川地区防犯協会及び桜川地区防犯連絡員協議会の事業費で啓発活動しているため、事業費はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民に防犯意識向上について啓発を行っていることから、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨															
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上				維持				低下			
成果	向上															
	維持															
	低下															
		(6) 事務事業優先度評価結果														
		成果優先度評価結果														
		コスト削減優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持)    C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う)    D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>